

唐土訓蒙圖彙卷之三  
宮室

		和書門	
一冊	架	二七九〇號	類

內閣文庫		和書類	
二四函	一冊	二七九〇號	

內閣文庫	
番號	和 27990
冊數	11 ( 3 )
函號	184 358





唐土訓蒙圖彙卷之三

名の下に  
和名と附

宮室

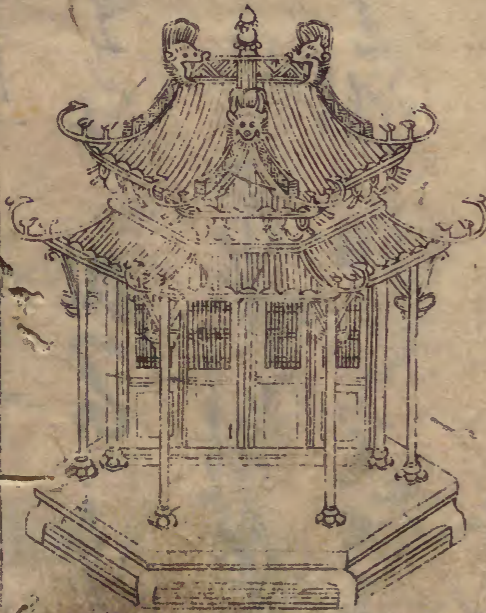
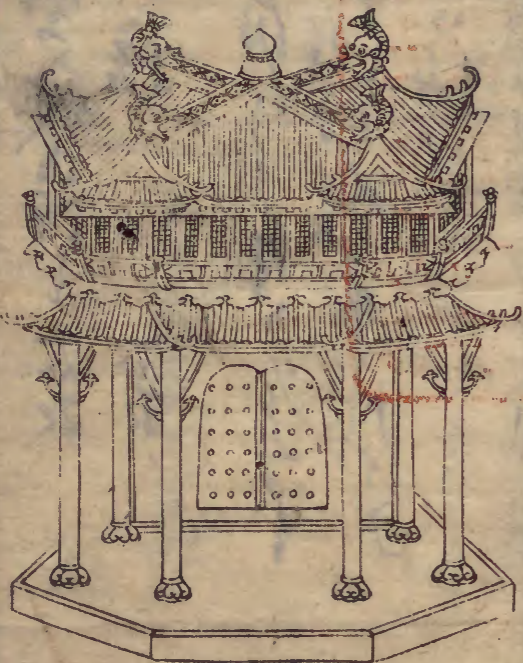
易小  
室此部  
上天子  
下民間  
の村居  
まて

宮

宮の  
中  
に  
處  
す  
か  
は  
と  
り  
く  
り  
り

殿

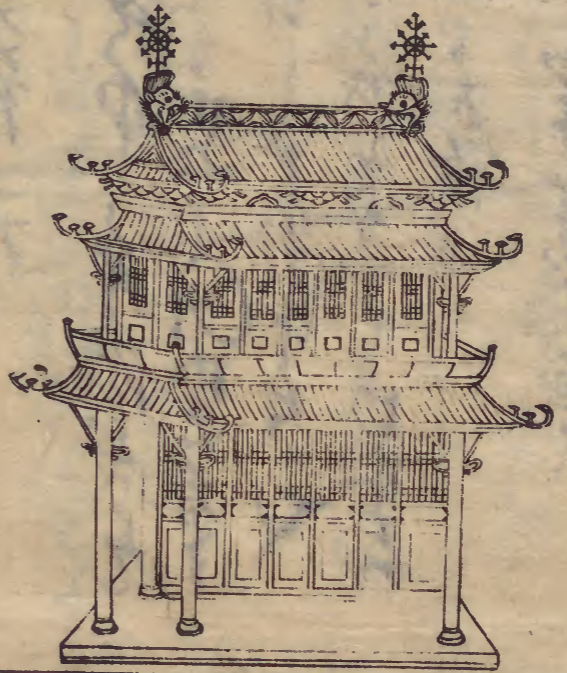
殿の  
屋  
と  
か  
ら  
小  
義  
と  
り  
り



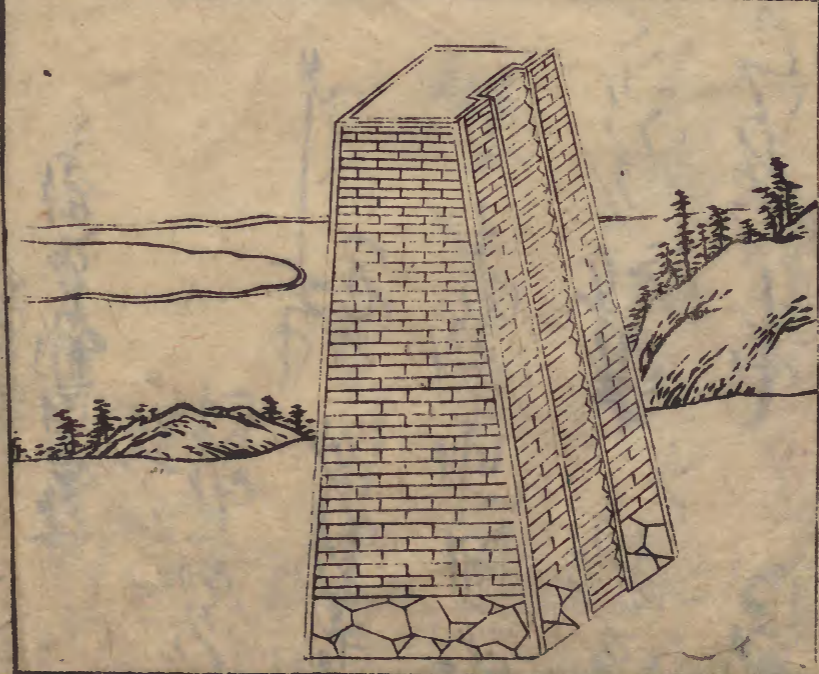
三十三



閣  
阿闍の武帝の所  
白鳳阿闍の葉々といへり阿闍ハ  
樓乃うへ今一重あるものなり

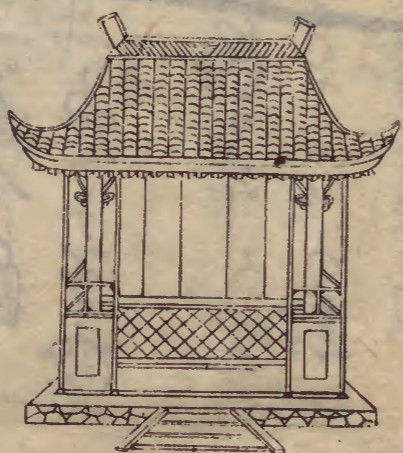


臺  
其ハ黃帝の  
つらとら高くして四方を觀  
わがたとりよあわるとハ榭と云



堂

明堂ハ黃  
帝の氏々  
取なり明  
の字乃かハ  
礼義ハ管  
らりとあら  
と明をす  
か意なり



觀  
其帝元氣觀をつらとら  
觀ハのぐとらノ意なり又稔樓と云



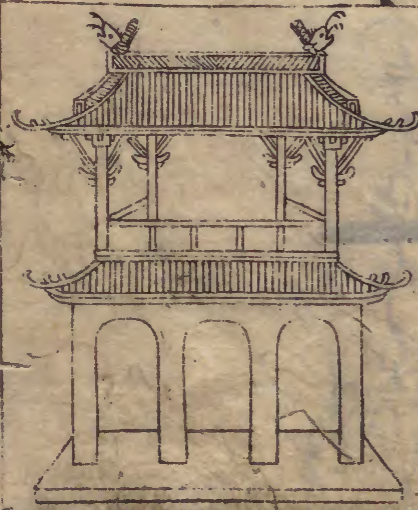
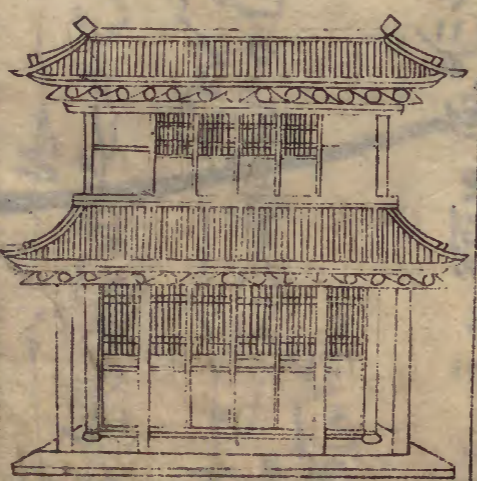
榭

方士漢の武帝に  
五城十二  
樓と爲す  
神人と候  
と武帝  
と信  
して榭樓  
とつらと  
ま

闕

門闕とて  
まきやう  
とまきやう  
中に門を  
わきまを  
いん中乃  
つらとら意  
なり

黃帝の時より  
武帝に増て曰黃帝



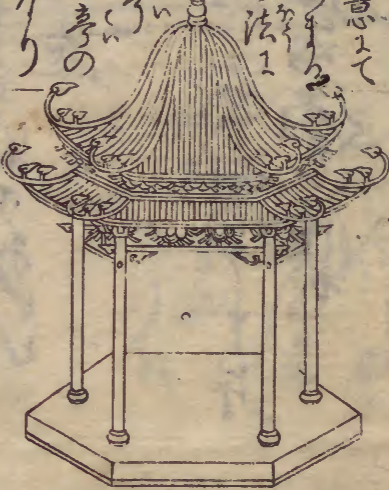
唐土川家園景卷之三



亭

亭の字の意は

亭の字の意は、  
とゆりあつた  
不之秦の法、  
十里一亭、  
あり、  
長とつたり



館

館の字の意は

舎なり他國  
賓使を  
りて、  
つたり



庭

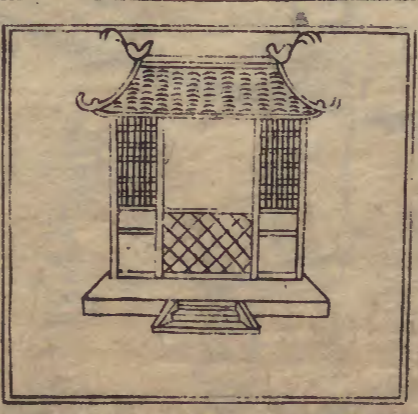
庭の字の意は

庭の字の意は、  
間と庭といふ  
黃帝大庭の  
庭の名、  
つたり

宅

宅の字の意は

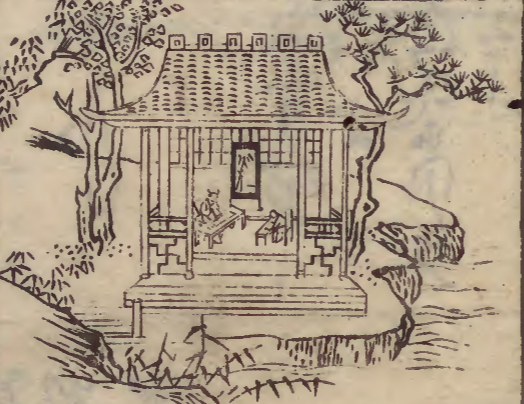
孟子に、  
五畝の宅、  
あり、  
つたり



齋

齋の字の意は

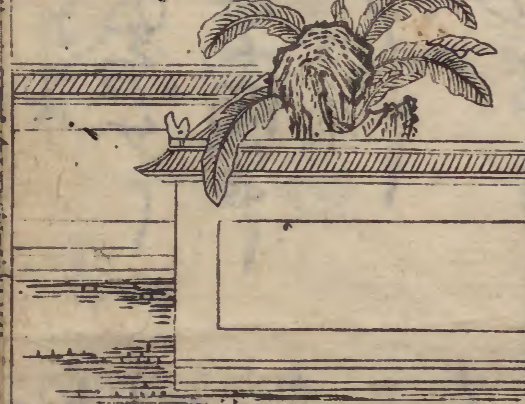
宣帝齋居、  
事と交り、  
つたり



堵

堵の字の意は

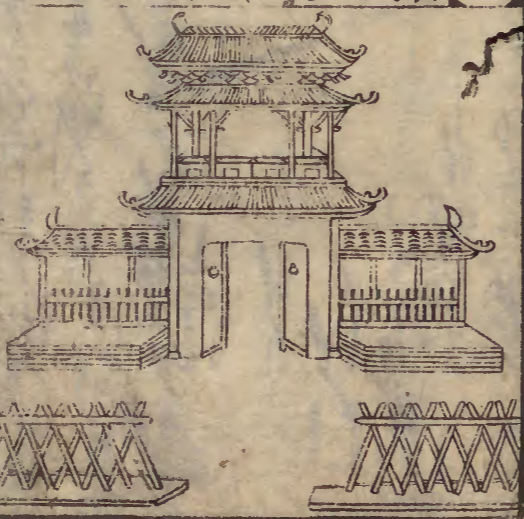
堵の字の意は、  
人として、  
つたり



廨

廨の字の意は

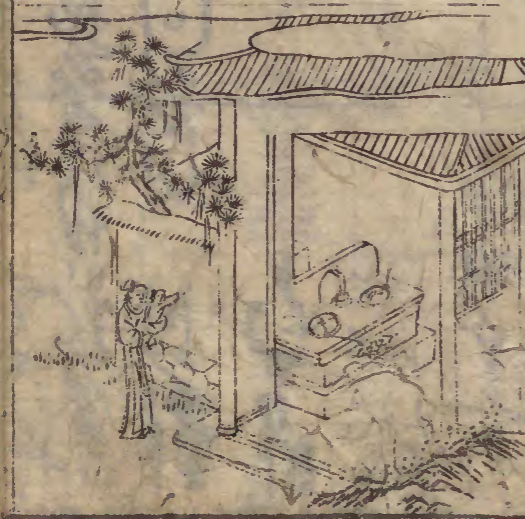
百官の居、  
所と府と  
つたり



尙

尙の字の意は

義始、  
つたり





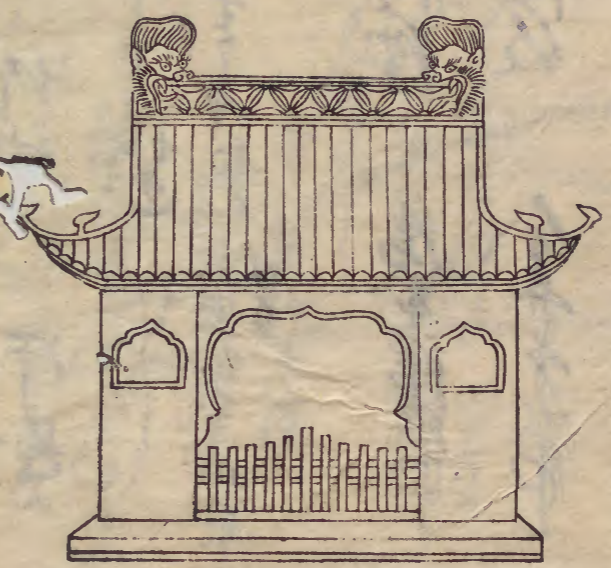




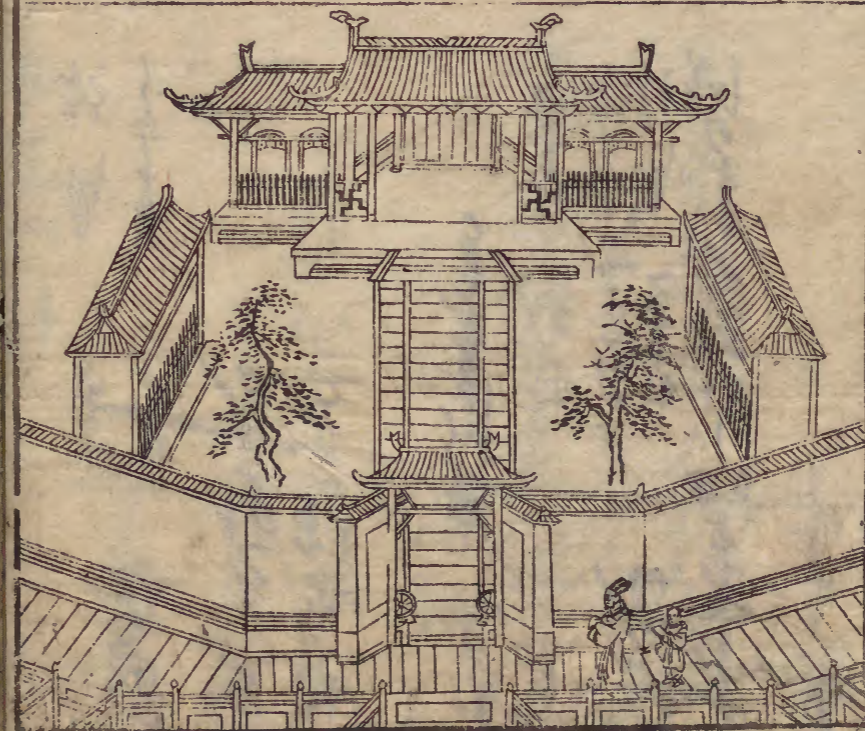




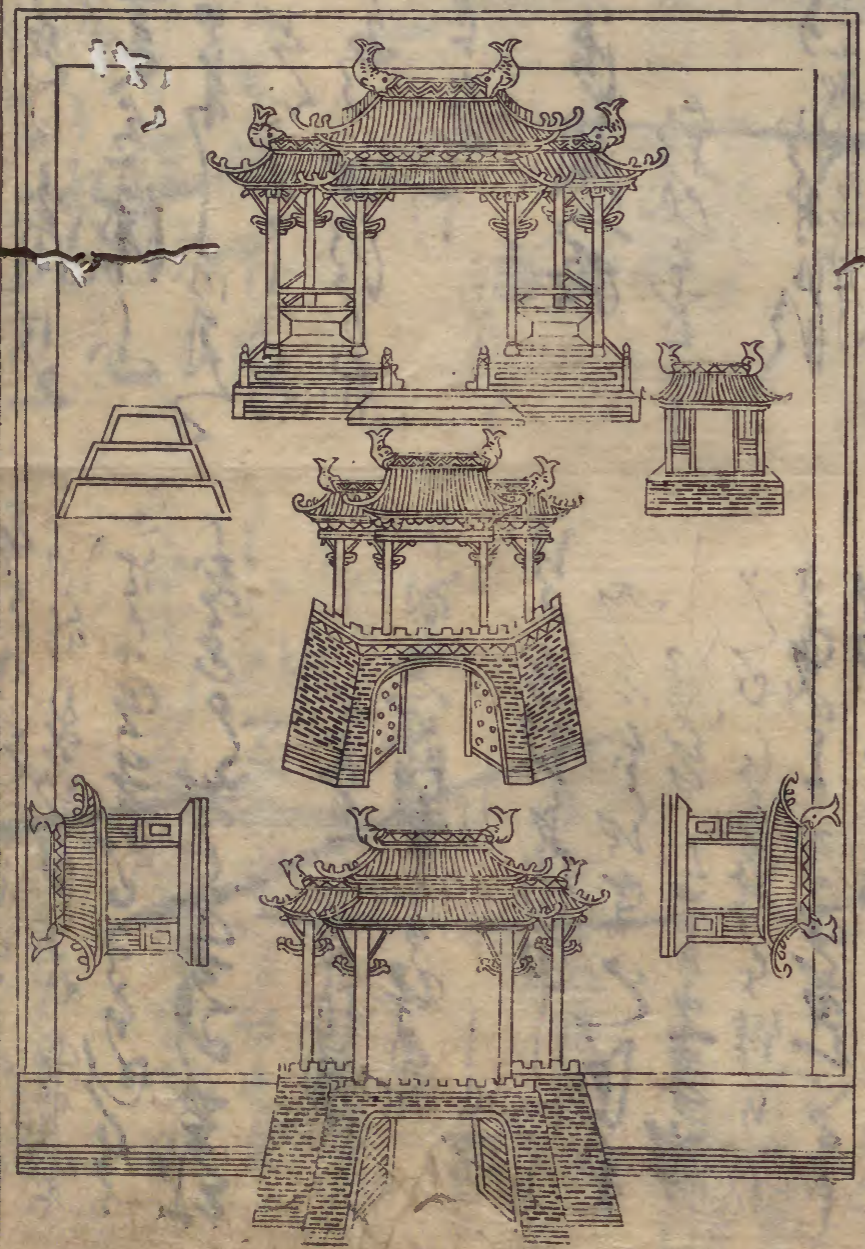
廟たみ 廟たみハ廟たみの字義あやまにて先  
人の靈れい貌ぼうと彷彿たがひとる故ゆゑなり  
びりびり 天あまより降りて下くだ  
遊あそばく祠ほくらと云いふ其そのくちし



學まなぶ 學まなぶハ學まなぶ校がうなり上天あまのつみ子こ  
下くだ下くだ下くだ人ひと子こいりてまなぶつと  
その學まなぶ校がうなり

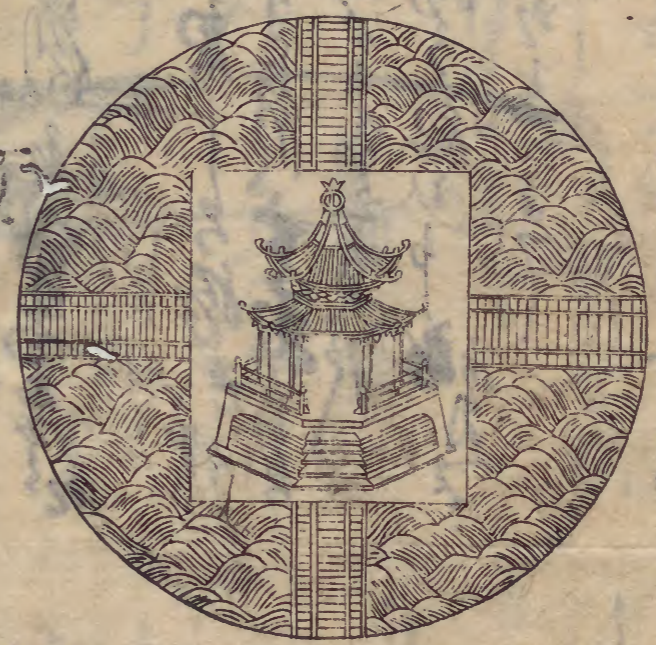


皇門かうもん 皇門かうもんハ大王おおい岐まきよりつりまひ室むろと築たかま廟たみと云いふなり  
皇門かうもんと建たつり古ふる公こう皇かう天あまのら大王おおいと(と)稱なづけし王おうの郭かく  
門もんを皇門かうもんといふ正門せいもんを正心門せいしんもんといふ而しか天子てんしの門もんなり

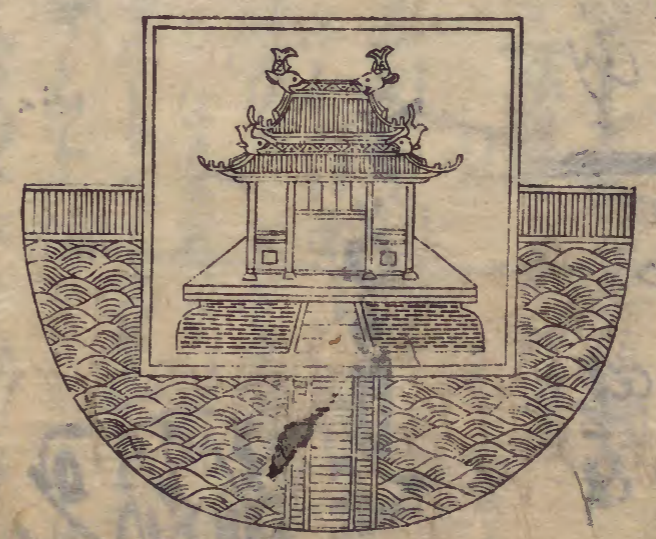




辟雍 天子の射と字ひれを  
 舟の形に水を行て四方がひと  
 つくことより観るやうに牆あり



泮宮 泮の義ハ半の字と  
 通して天子及文れなりこれ  
 諸侯の學舎なり



田廬

民の家なる  
 中を鶴大を  
 を畜ふと將  
 たり五畝の  
 宅二畝半と  
 廬と二畝  
 半と田と  
 右制なり

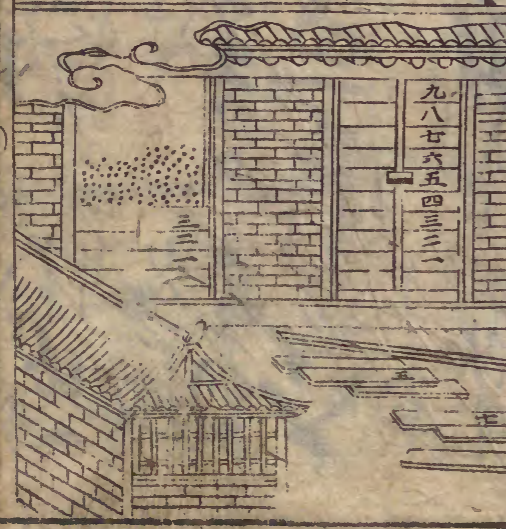


牛室

牛とく  
 ところ積と  
 そろろ  
 室

倉

五穀を  
 おさる  
 處の総名  
 を倉なり





廩 くら 壁  
くくやねあり  
わつとよき  
廩倉ハ五穀  
と蓄る所の  
惣名なりとも  
いへり



庫 くら 兵器  
金帛をたくを  
ゆきしつとよ  
書といふを  
文庫と庫ハ  
湯武のとき  
五庫と築て  
五兵と蓄る  
いへり



京 くら  
けりといふ又  
原の字より  
京ハ高大乃  
義といひつ  
いへり



賣 くら  
小くして腹大  
よしておへる  
と穿てて出入  
しつといへり  
空者といへり

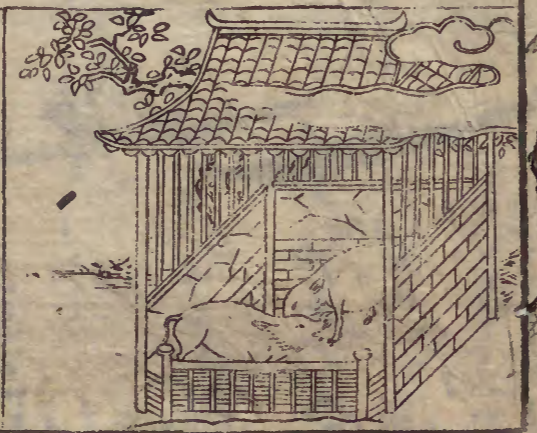


廩 くら 礎  
たくやねふ  
くらといふ  
いゆりな  
はつたり

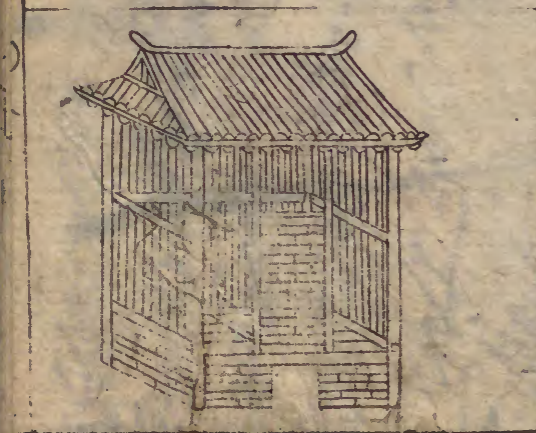
圓 くら 丸  
建てて石をさ  
しつといふ  
廩の圓なり  
と圓といへり



圓 くら 牛  
系の類とひ  
とあるといへり



登司 くら 登  
司の林の名  
登といひ  
つたり今乃  
人あやま  
この名といへり



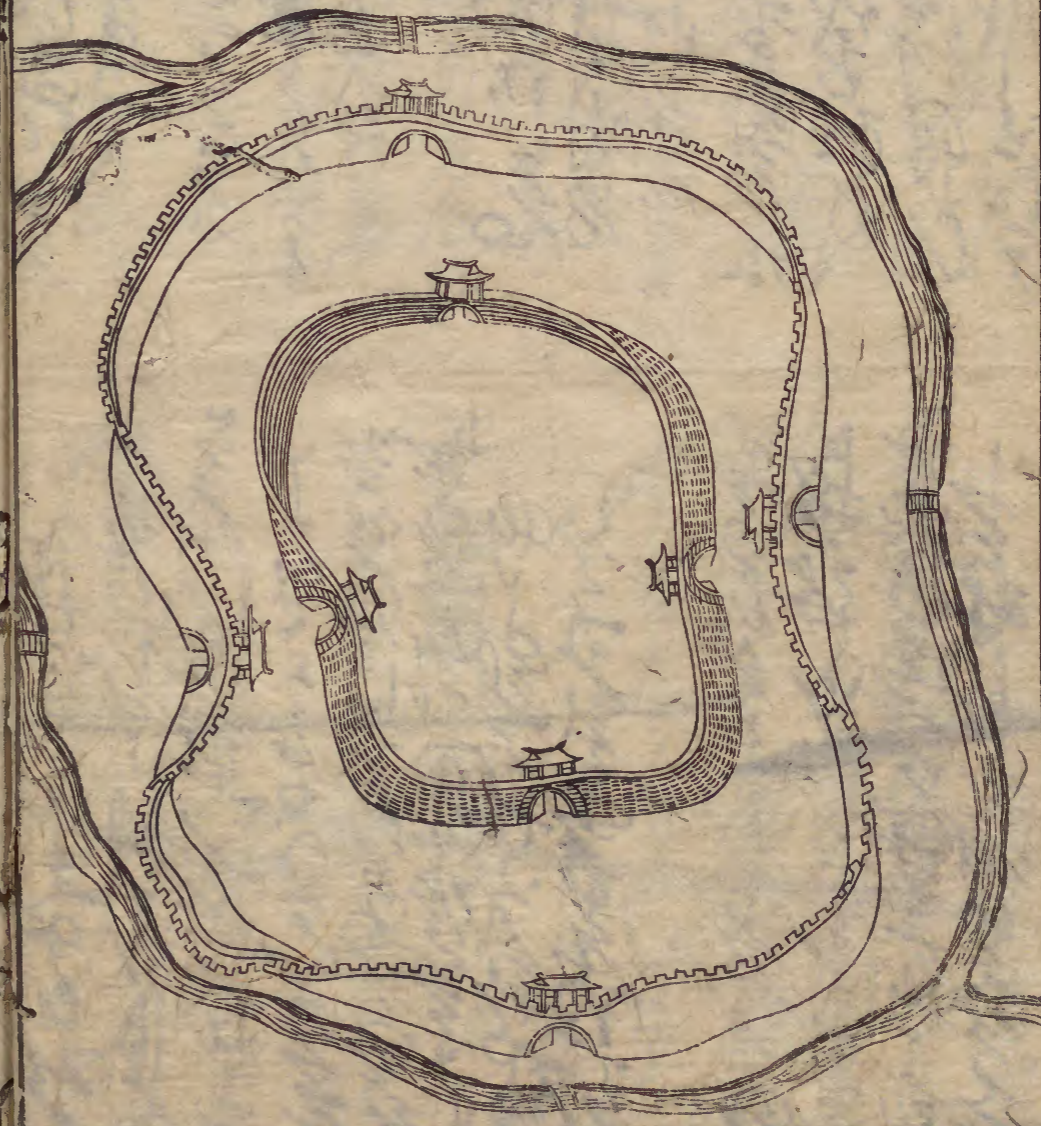


郭なる

城の介と郭  
といふは  
縣といふ城と  
つらこれり  
よりて君を  
衛するは  
りは縣と城  
とをわたり  
つらこれり  
城といふは  
郭といふは  
いふは  
さるるの  
傾城破院の  
不とるる  
とも四カ  
うにわな  
よてとに  
いれど郭と

城なり

城ハ盛なり  
とてさうりに  
國都と云ふ  
故なり城上の  
垣と睥睨と  
やまの孔の中  
より非者と  
睥睨するを  
いふは  
女牆といふ  
し七の女  
夫よおと  
いふは



唐土訓新圖景卷三



唐土訓新圖景卷三





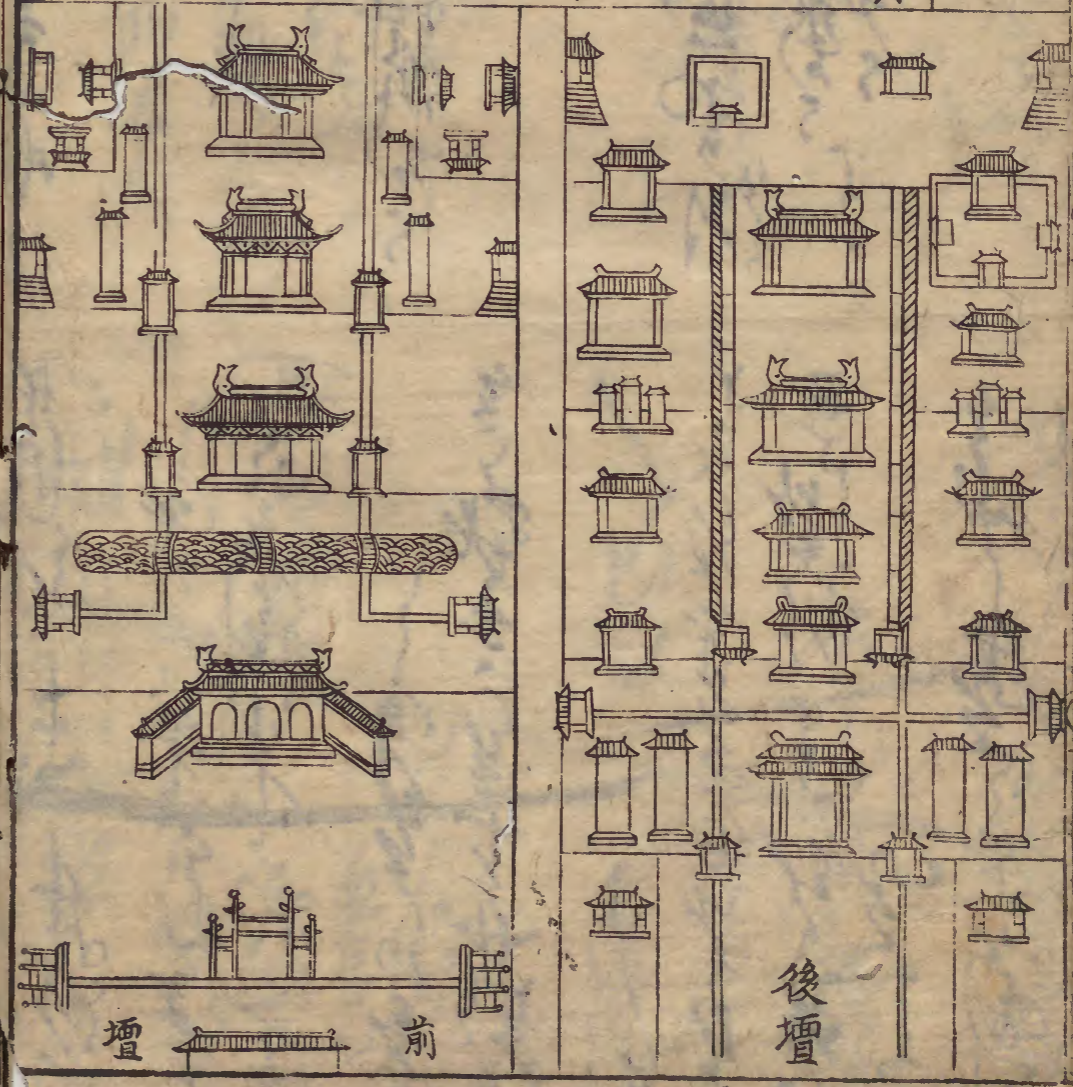
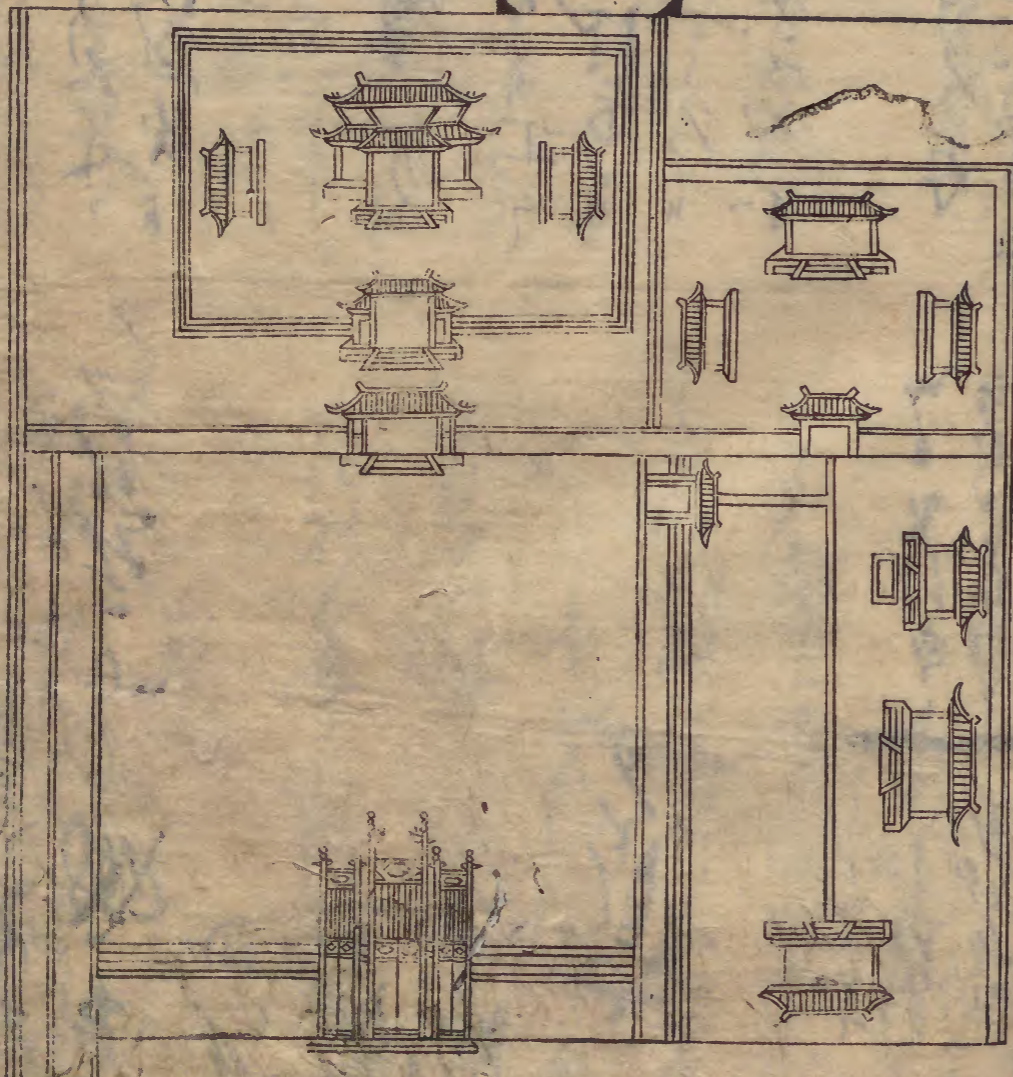


夫子宮壇前  
後圖

先聖孔子の廟  
充列仙源卿の  
西二里西の  
魯城に接す  
二百歩關  
里の舊宅なり  
殿門の結構ハ  
とくく記  
委の聖  
跡圖廟里志  
寫にんい  
てよハ  
果の  
わは

廟

これ天子之  
祖と祀る  
所なり

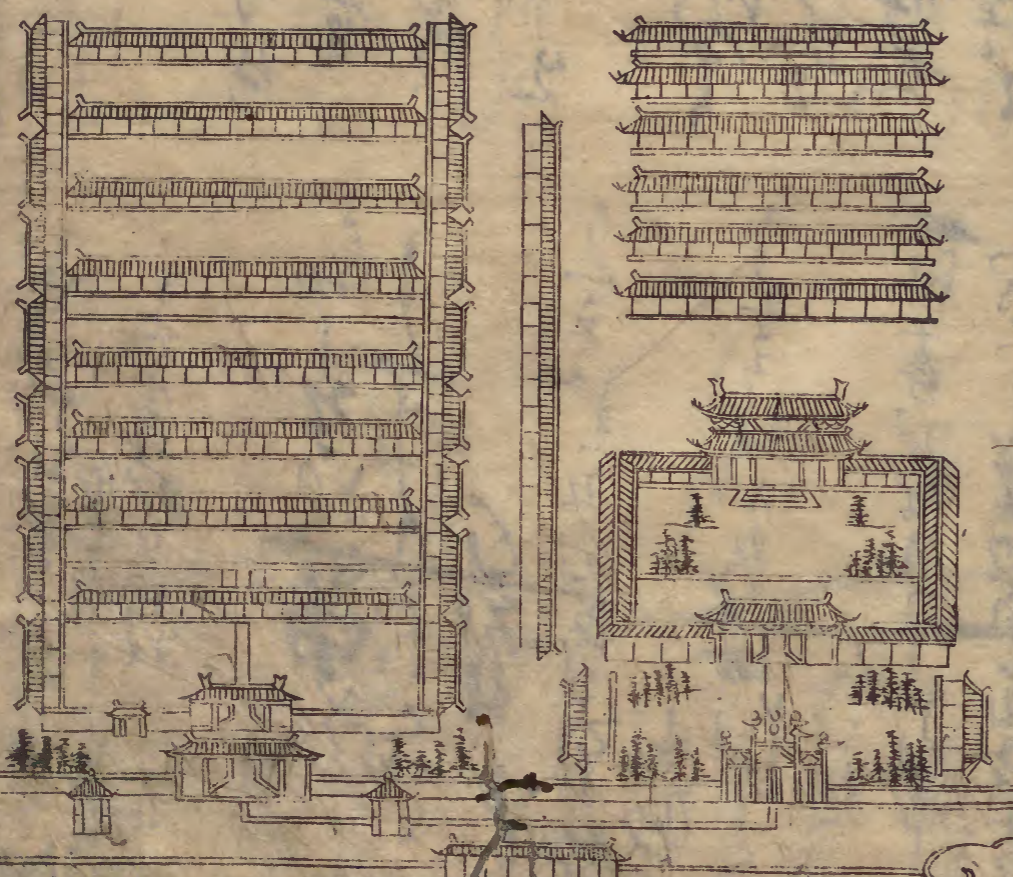
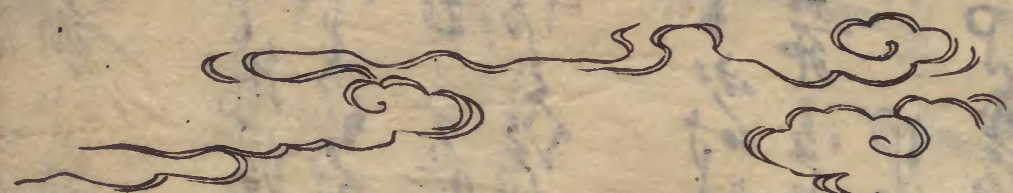


第二廟

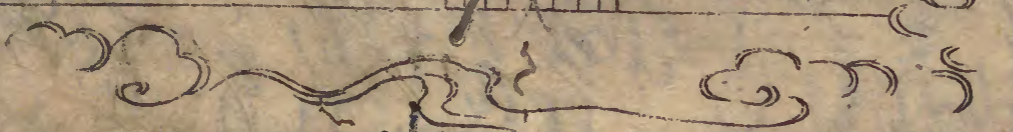


大いなる學の校

大いなる學の校

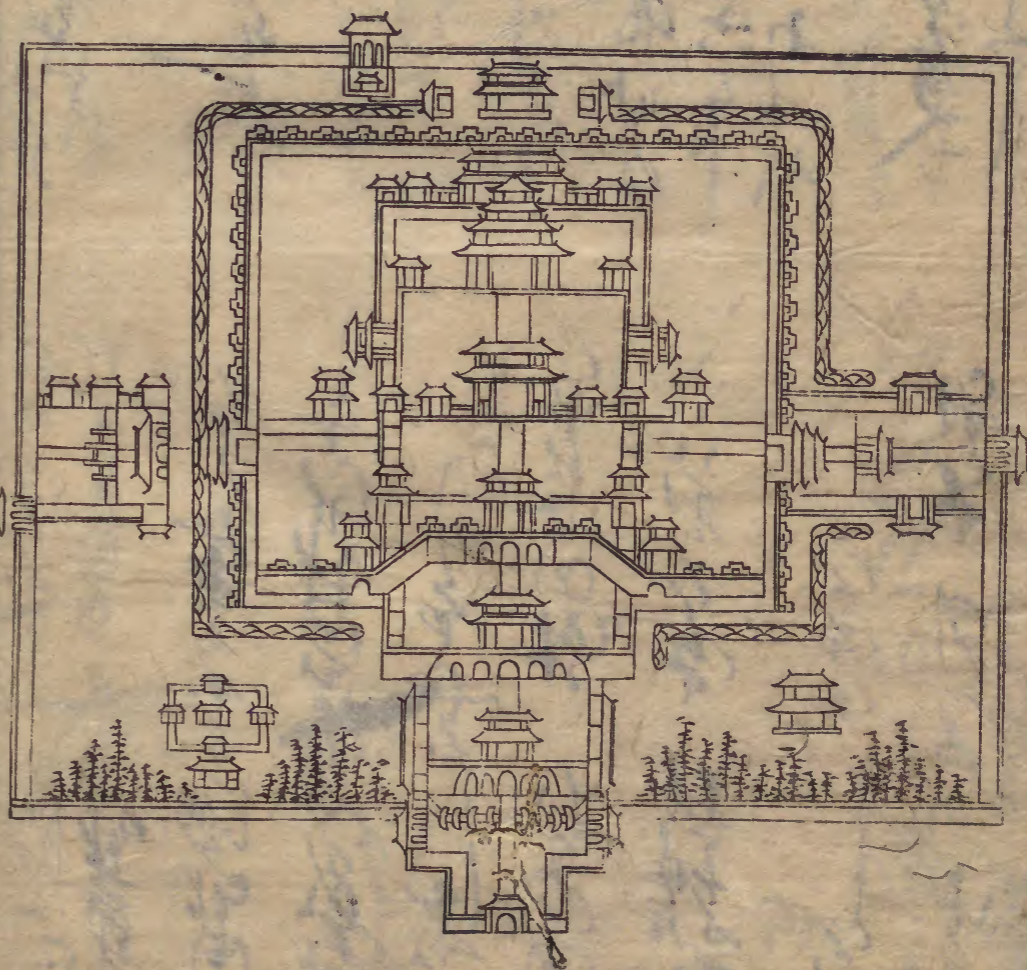


大いなる學の校



皇城圖

これ天子の  
まきの  
都の園今  
いふ條裏に



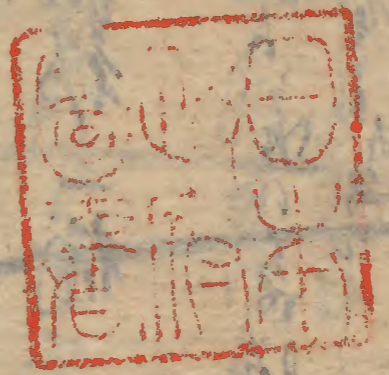
皇城圖



Handwritten text on the left page, including a large rectangular area of paper and vertical characters at the bottom left.

子  
性

Handwritten text on the right page, including a red square seal and vertical characters along the right edge.





神皇正統記

因幡守

葉子一采

文有二十

古くは中... 何れも

... 是れ... 内

... 中... 内

... 九... 内

... 善... 内

神皇正統記

...

...

一位

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



海運院蔵二平一〇〇五五

一信

何付の事か

事か

事か

事か

事か

海運院蔵二平一〇〇五五

事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か

海運院蔵二平一〇〇五五

一信

何付の事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か

事か



二〇七

あは  
うま

行中

平たうく

あはあ

あはあ  
あはあ

あはあ  
あはあ

あはあ  
あはあ

あはあ  
あはあ

あはあ  
あはあ

あはあ  
あはあ

あはあ  
あはあ

あはあ  
あはあ

あはあ  
あはあ

あはあ  
あはあ

あはあ  
あはあ

あはあ  
あはあ

あはあ  
あはあ

あはあ  
あはあ

あはあ  
あはあ

あはあ  
あはあ

あはあ  
あはあ

あはあ  
あはあ



遠征高麗... 陸田輝...

一 信柳

大陽...

一 瓶

一 打

一 瓶

一 打

市上若...

...

今

信柳...

...

...

...

...

...

...

市上若...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



小泉 岩茂 八幡  
大塚 行忠 行忠

此處至月如至 山田 野呂 行忠

大塚 行忠 橋本 津常

高橋 信成 金井 文次郎

中野 信成

中野 信成

中野 信成

中野 信成

神田 信成

神田 信成

一信

氏名 信成 常務 信成

信成

信成 信成 信成

信成

信成

信成

信成

信成

信成

信成

信成

信成

信成

信成

信成



理

而九月廿四日

申

申

申

申

申

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之

抄平之



十日  
十日  
十日  
十日  
十日  
十日  
十日  
十日  
十日  
十日

十日十日

十日

十日

十日

十日

十日

十日

十日

十日

十日

十日

十日

十日

十日

十日

十日  
十日  
十日  
十日  
十日  
十日  
十日  
十日  
十日  
十日

十日

十日

十日

十日

十日

十日

十日

十日

十日

十日

十日

十日

十日

十日



近頃古くは...  
昔々...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

大智...  
大智...  
大智...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...

也...  
也...  
也...  
也...  
也...



内書の事

此月内掛紙次第の事  
掛紙の事  
此月内掛紙次第の事  
掛紙の事  
此月内掛紙次第の事  
掛紙の事

六日千二百五

掛紙

掛紙

掛紙

本十日六日

此月内掛紙次第の事

掛紙

掛紙

掛紙

掛紙

掛紙

此月内掛紙次第の事

掛紙

掛紙

掛紙

掛紙

掛紙

掛紙

掛紙

掛紙

掛紙

掛紙

掛紙

掛紙

掛紙

掛紙

掛紙

掛紙

掛紙

掛紙



此後... 松桂... 仁...

仁...

一... 產...

印...

印...

一... 第...

大...

印...

明...

印...

印...

印...

印...

印...

印...

印...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



高保文

用はくはれり

伊上格

山名

山名

山名

伊東

伊東

伊東

伊東

伊東

伊東

伊東

伊東

松

伊東

伊東

伊東

伊東

伊東

高保文

伊東

伊東

伊東

伊東

伊東

伊東

伊東

伊東

伊東

伊東

伊東

伊東

伊東

伊東

伊東

伊東

伊東

伊東



Handwritten text in cursive style, located in the top right section of the document.

結部一稿

Handwritten text in cursive style, located in the top middle section of the document.

Handwritten text in cursive style, located in the top left section of the document.

Handwritten text in cursive style, located in the bottom left section of the document.

Handwritten text in cursive style, located in the bottom right section of the document.

結部一稿

Handwritten text in cursive style, located in the bottom middle section of the document.

Handwritten text in cursive style, located in the bottom left section of the document.

Handwritten text in cursive style, located in the bottom left section of the document.



